

# 水源禪師法話集 99

(2018年7月21日 カナダ合宿二日目)

2019年2月27日

一乗禪の会



アフガニスタンのカブール博物館にて

# 目次

## 水源禪師法話

光明無きがゆえに、無明が発生する.....	3
お釈迦様はその人の縁を觀て涅槃に達してあげた.....	4
生活する事を一生懸命やれば、自然とそれが瞑想になってしまう.....	4
動物も人間も年老いたり、死期が近付くと一人になる.....	5
五口家有一客.....	6
心の作用の組み合わせによって六処のどこかに生まれる.....	7
心の中の六処という一つの Domain (ドメイン).....	8
仏教の聖地を訪ねる宇宙人.....	9
中間を外して、ゼロ、無限、無・これは丸暗記のカンニング、無明.....	10
痴呆症は機械化の世界によって六処を遮断してしまう.....	11
心が自分で作り始めるコンピューターゲーム、止まらない苦しみ.....	12
「仏説・妙法蓮華経」「仏説・般若心経」意味深いお釈迦様の言葉.....	13
鳩摩羅什の法華経.....	13
「執着の愛」ではなく、お釈迦様の「大きな愛」になって下さい.....	15
愁、悲、苦、憂、悩の発生により苦が堆積してゆく・しっかり觀る.....	16
觀自在菩薩行深のサンカーラを般若波羅蜜多によって觀る・法隨觀.....	16
浄土三部経の仏説阿弥陀経・一億いけば一人二人しか行けない.....	17
あなた一人一人が確認してください.....	17
正法眼蔵、言葉の由来.....	18
四十年前、未来の水源師を觀て書いてくれた句.....	19
お釈迦さまはダーナされた毒キノコを食べて亡くなられた.....	20
ホータンの王女様の化身が「百濟觀音」.....	22
行をして、旅をして初めてわかる・阿弥陀様の色は朱色.....	25
掛け軸二つにピタリ、觀音経にピタリ.....	28

# 水源禪師法話

## 光明無きがゆえに、無明が発生する

---

今日の質問は、この本の中でどれが一番聞きたいことなのですか。

### 【参加者】

十二縁起、前夜、昼夜、後夜ってあるじゃないですか？お釈迦様が「何々が無くなれば、これが無くなると」、今後自主瞑想会で、皆でこの辺を唱えたいなあーと思うのですけれど、、、、。

### 【水源師】

日本語であれば一番。

### 【参加者】

一応全部読んだ方がいいのでしょうか？お釈迦様の言葉だからやっぱり響きとして分からなくても、、、、。

### 【水源師】

そうだね、一杯色んな説明があるのだろうけれど、結局十二因縁はやっぱり、お釈迦様の、しっかりと。どうして自分がこの世に生まれてきて、何回も生まれては死んで生まれては死んでと言う事をしっかりと、その作用ね、どういう風に生が発生するかという事をしっかりと観たわけですね。

それは無明によって生が生まれると。無明という事は結局、一体私たちはどうして生まれてきたのか？という事を誰も説明しないわけです。ただ神によって作られたと。それでお終いだけれど。そこから色んな疑問がお釈迦様は湧いたのだと思います。

神はどうして一生豊かな人とか、一生苦で貧乏な人とか、殺されたとか、色々な事がそれぞれの人生で発生しますが、神はどうしてそんな風に作るのか？という説明もないわけですね、今でも。

それは私たちが八正道という風な正しく見て、正しく考えて、正しい行動をして、正しい生き方をして、正しい心で耐えて、一生懸命に瞑想の努力し精進し、定に入るとか、智慧を得るとか、そのちょっと国々によって説明が変わっているけれど。まあそういう光明が無きが故に、こういう風に無明が発生して、それで生を受けると。

アラハトになれば、もう二度と母体に戻らないわけとか、涅槃に行ってしまうから。だから非常に簡潔にそういう風な光明が無い場合が、無明という風に説明しているわけです。

## お釈迦様はその人の縁を観て涅槃に達してあげた

でもここには非常に壮大なストーリーがあるわけですね。じゃあアラハトになるのは、非常に難しく普通は不可能だと。ところが全ては、一切は心によって、私たちは存在するから、心がしっかり眼を開いた場合には、一瞬にしてもうアラハトになるわけですね。それが Sudatta という祇園精舎の一生懸命、布施布施お布施してアラハト、死ぬ直前アラハトでは無いし、普通の人だったけれど。

何回も言った様にお釈迦様が般若心経の一番大切な所を取って引導と言うか、悟りを Sudatta に開かせて涅槃へ行かせたわけです。それで死ぬ前に完全に悟りを開いてもう二度と生まれる事がない様に。という事をしっかりと、その Sudatta が受け止めて行ったわけです。

「あなたはこれ出来ましたか？」「はい出来た」と。「次はこれは？」「出来ました」とか。簡潔に、最後は死の恐怖が無くてにっこり死んで行って、もう涅槃に達したわけです。

それでまた、たしか、シャリープトラ様だったか、こう銀細工師がいくらやっても修行が進まずに、前にお話したけれど、お釈迦様が蓮の花をずーと観なさいと言ってそれを観ているうちに、一日のうちにアラハトになってしまったと、スーっと。

という風に、縁を観てお釈迦様はそういう風に死の直前でもそういう時期を観て、スーっと涅槃に達してあげられるわけですね。そういう道。だから棚ぼたではなく、その人たちがそういう縁に出会ったわけで、良い因縁を作るという事はさっき言った様に、いつも八正道、八正道を簡潔にまとめれば、正直に、真面目に、人の為に尽くすと、これをやってしまえば、必ず八正道に入って、そのうち欠けているのは瞑想するという事です。

## 生活する事を一生懸命やれば、自然とそれが瞑想になってしまう

瞑想と言うのは生活する事を一生懸命やれば自然とそれが瞑想になってしまうわけね。だから匠の技とかね、あれは非常に深く考えていいものを作りだすとか、例えばおせち料理とか、一般の家庭の人もお母さんが一生懸命美味しいものを食べさせようと言って、良い料理が出来て、名物が出来たりとか、そういう事で。

農業に携わる人、海の仕事をされる方とか、もう満々ているのだけれど、そこで一生懸命やっていたら、座らなくてもね。でもなかなか、やっぱり雑念が起こって出来ないようになっているしね。まあそれでも、ありとあらゆるところにそういうチャンスがあるという事ね。だから人間界だけでなく、例えば動物界でもそういう風に面白い事に、ゴリラさんだったかな、ゴリラさんはね、年取ってきたら一人で森の中に入って一日中座っているのだったって、じーっと。それで呼ぶまで来ないのだったって。一人離れて森の中でじーっとしているみたい。

## **動物も人間も年老いたり、死期が近付くと一人になる**

---

### **【参加者】**

瞑想しているのでしょうか？

### **【水源師】**

瞑想なのか知らないけれど、ジーっとして、それがね、そういう事は人間もします。私の知っている友人が、年取って来たら何故か知らないけれど、家に帰って来たら木を見て、椅子で二時間か三時間だーっと見ているわけです。何か知らないけれど、気持ちがよくてジーッと見ていると。自分でも分からないけれど、ただただ見ていると。

そういう風な心境で心が瞑想と一緒にの事をやっているわけですね。だから一生ね、人を騙したり、お金の事でくよくよするとか、そういう事やれば、静かに一人で居ないでしょう。人間界もそうだけれど、そういうゴリラさんでもね、離れてジーっとしているらしいよ。それで夕方になればまた帰って来るらしい。家族のところへ。それでまた朝になっへ行けば森に入っ行って、ジーっ、という死ぬ前にそういう事をするみたい。

### **【参加者】**

引っ込んでまた戻る。

### **【水源師】**

時期が来れば何か自然とそう言う風な。

### **【参加者】**

猫もわかる。

### **【水源師】**

猫もまた分かるし。

### **【参加者】**

隠れて、いなくなるのですね。

### **【水源師】**

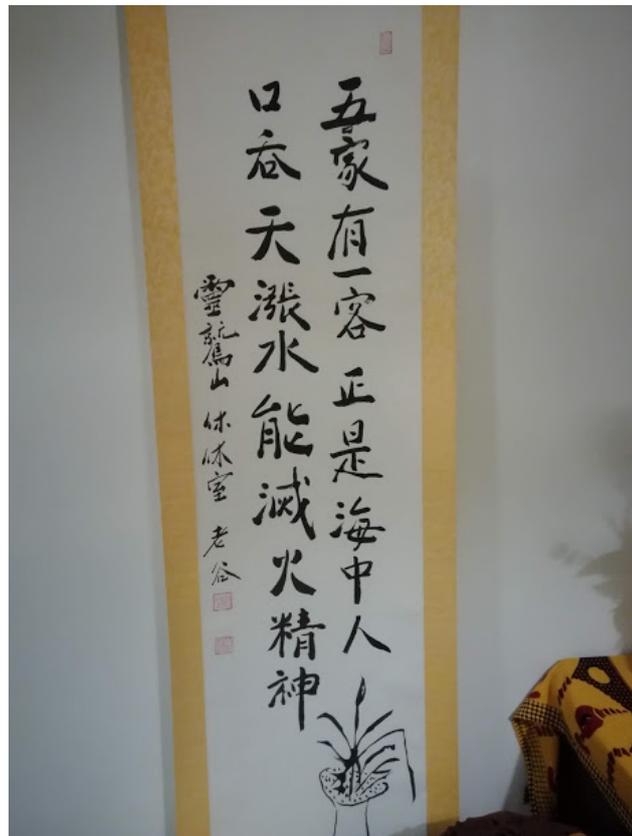
私の動物のうさぎちゃんのりゅうちゃんもね、死ぬ前に分かるから、ジーっ外へずっと出ているわけです。それが精神界のあれで行くのかどうか分からないけれどね。

## 五家有一客

まあそういう事で、無明だけれど、アラハトではないけれど動物でも光明を得ようとするのか、じーっと、心の問題だから。心の作用で、無明から光明に入ろうとするのだけれど。

私たちはそういう風に、一体なぜ私たちは生まれ、どうして死んで行くのかという回答が誰も分かってないからその繰り返しをしてきたと。それでこういう無明の縁によって生が生まれると。光明の場合はもう涅槃に達するから、生まれることが無いわけですね。何故かと言えば、私はもう無量の時間輪廻をずーっと繰り返し繰り返しして、流転於尽それをしっかり観た場合は、それは生を受けて苦を受ける事であると。ずーっと苦しい事の繰り返しだったと。

だからそれをしっかり観て、もう二度とこの家に戻らないように私は自分の家を壊してしまっ、帰ることが無いからもう生まれることも死ぬことも無いという事が涅槃なわけね。という事を言っているわけ。だからあそこ、あるでしょう？吾家有一客、五書いて口を小さく書いて家、家の事。眼、耳、鼻、舌、身、意あの事。私はそこに宿っているお客さんだと。



吾家有一客の掛け軸

これをしっかり観た人は、海の中にいる人だと。この全ての水をもって、良く燃え上がる火を消してしまうと言う事で、お釈迦様はこういう行をしたわけです。その最初、凄い行者がね、ズーっと水の中で過ごすのです。それで二か月以内にその域に達してしまったのです。という風な事をやっても、こういう悟りにはまだ行かないわけ。これが輪廻転生をしっかりと観たという事、吾家有一客のこの一言に入るのです。

### 心の作用の組み合わせによって六処のどこかに生まれる

まあそう言う事で、そこから説明しなければちょっと無明という事が分からないから。それによって、無明によって生が発生しますと。この生きる事によって、その事によって、識、受想行識の識という認識という事が出てくる。あれはこれ、これはあれと、美味しいなとか、あそこに大きい木があるとか、果物があるとか、そういう意識、識別が発生してくると。

それによって今度ナーマ(名)、ルーパ(色)ですね、この識によって名色、名というのはナーマ、ナーマというのは物質じゃない、そういう心の作用、色というのは大きく分類すれば、地、水、風、火が物質が組み合わせあって、眼の物質52とか、鼻の物質52とか、体が50とかそういう風に識別して行って、確か28の物質が色んな組み合わせでこの世は出来ているみたいで、という事まで深く観ていったわけ、考察して。

心の作用の次から次と、食べて美味しい、それから鳥が飛んだという事を認識するとか、そういうのは大体89の組み合わせがあるわけですね色んな。まあそういう風に。それによって六処のどこかに生まれてしまうと。

#### **【参加者】**

六処ってなんて言うのですか？パリー語で。

#### **【水源師】**

六処は salāyatanan、salāyatanapaccayā この salāyatanapaccayā の六処が発生する事、生まれる事によって、天界、阿修羅界、人間界、餓鬼界、動物界、地獄界それで六処その事。どこかに、それは生前の作用によってそこに生まれますという事ですね。その組み合わせが天界から人間界に来るか、動物界から人間界に来るか、それは色んな作用が組み合わせがあるから。それを簡単にそれによってどこかに生まれてしまうと。

鳥さんは鳥で育てられているから、次もほとんど鳥の人生に生まれてしまうと。ただし鳥さんが人間界に近づいてずーっと親しくした場合には、私も人間になりたいなあと思えば、人間界に生まれてしまう。

**【参加者】**

そこのカエルさんもそうなのでしょうか？

**【水源師】**

そうかもしれないし。このカエルさんずーっといるのですよ、ずーっと何十年も。代々生まれ変わっているかも分からないけれど、この家が1981年、今2018年でしょう？もうそろそろ40年なる。その当時からいるわけです。同じカエルさんがここ、移らない。

家を建てる時も三年間はガタガタだけれども、終わったらまたひょっこり現れて、同じ所に。不思議。

**【参加者】**

玄関のところにいましたね。

**【水源師】**

絶対にいたずらしないし、何か気に入って必ず、不思議ですよ。まあそういう事で、またカエルさんがここにずーっと代々居ついてくれるのかそれは分からないけれども、まあそういう事でね。

### 心の中の六処という一つの Domain (ドメイン)

六つの場所と言う、六処生起と言うでしょう。この六処は、生まれる世界の事ではなく、心の中の六処の事で、心には眼のスペース、匂いのスペース、味のスペース、接触のスペース、聞くスペースと心で、六つで六処という一つの domain ドメインが出来ています。

domain ドメインと言う英語がピッタリで、日本にはこの言葉がありません。英語では domain ドメインといえば、コンピューターで言っているでしょ。これはエイリアンが、1947年その時初めて、CIA とかアメリカの最高の超極秘の人達とか世界の最高の頭脳が、この最初のエイリアンと直接接触した時に、domain ドメインという言葉が最初ピッタリ合うと。

それがコンピューターの domain ドメインになって、六処のここも domain ドメイン、日本語の六処ではちょっと話にならない。だから漢字でも難しい「處」と書いているけれど、六処ほとんど「處」と言う字に近い、処と七書いて虎みたいに、だからこの漢字の意味も

日本では六境とか、境界の境とか、この意味自体が日本語でははっきりしない。

英語のコンピューターで言う domain ドメインがピッタリで、説明の仕方、インドヨーロッパ言語を中国語に訳して、中国から日本に来た時には、この六処が六境とかになるというエリアになるわけ。

つまり体験しているからその事が分かるけれど、体験無しではもう経典仏教の恐ろしさがここに入ってきますね。私もさっき六処、処と言う場所だから、あ、六世界の事ではなく、phassa パッサとか、何か入って来たからそれ、アビダンマのサンカーラの入ってくる行、これはちょっと間違っただけで訳しちゃったなあという事で、それで今、もう一回訂正しなければいけない、その六処という事が発生すると。domain ドメインの事。

ただ今コンピューターやっているから domain ドメイン分かるでしょ。何々ドットコム、それぞれの世界ね。一杯あるけれども人間はこの眼、耳、鼻、舌、身、意の般若心経のここが発生して、それを自分たちだと思っています。

ところが最終的に生まれて死ぬ最初の jati 生まれ出ると jati があるから jarā、この間に色んな過去の体験とか、この最後のこの一行のところが、私たちが生きている長い長いと思うこの人生の事で、百年一瞬の事に泡の様に消えて行ってしまっただけで、一万年でも泡の様に消える、千年でも泡の様に消える。一億年でも結果的には一緒で、こういう繰り返しをしているという、たったこの一行で、ずーっと心の作用がほとんどなっているから、それを解析したわけですね、お釈迦様が、ずーっと観ながら、何故これがなるかと言う事で。

### 仏教の聖地を訪ねる宇宙人

その宇宙人がアメリカでインタビューしてそれが最近発表、前から発表されたかもしれないけれど、とんでもない嘘の話みたいな事で、それもやつの事でそれが今出てきた事で、本当は、それは極秘の極秘なわけです、人間界にとって。でもお釈迦様はこの事を簡単に知っているわけ。domain ドメインという事をしっかり分かっているわけです。

だからこの宇宙人が、私が宇宙の最高の知識を持っていますと。一番正しいのは、ゴータマブツダの言っている事だと。それであっちこっち宇宙船が、仏教の聖地を訪ねているわけです。

#### **【参加者】**

あースリーパーダも。

#### **【水源師】**

スリーパーダも。何を言ったか一生懸命研究しているわけ。それで人間の DNA も一

生懸命研究しているけれども、その宇宙人の頭でも分からない超真理があるわけですね。

### 「中間を外して、ゼロ、無限、無」これは丸暗記のカンニング、無明

それを西洋でいう神と言うけれども、とんでもなくかけ離れた、その間がポーンとなるからその旅をして何処に家があって、ジャングルがあって、全部外して最初からパッと、0から1に飛んでしまうから、究極に飛ぶから、0から無限に発するその間の数字が全部消えてしまうわけです。これじゃ話にならないでしょう？

そこには $1+1=2$ とかね、それから微積分とか、色んな $\pi$ とか一杯その関りがあるのに、0から極にその間全部消えてしまったら何もないですよ。それで仏教の間違った教え方は、その中間を外して、ゼロ、無限無限、無、何が何だか分からない。

お坊さん自体も教条マントラみたいに、「全て空、全て、全て！」何が全てだか無限の事を、じゃあ無限の事をいちいち説明して行って初めて分かる事で、それは丸暗記で言っているそのカンニングだから、ゼロ回答ゼロ、それはね落第、超落第、人の飯を食べてと言う事なのだけれども。

一般の人はもう本当に、無明の中で永遠とこうして生きて行かなければいけないわけ、永遠と。今この集中合宿でこう人数が少ないからこうしてお話出来たけれども、この無明の恐ろしさ大体少し感じ取れましたかね？いかに無茶苦茶か、そのいかに滅茶苦茶な世界に生きているという事自体も、こうして長い間修行して今ちょっとおぼろげながらに分かったけれども。

じゃなければまあ海外旅行に行って美味しいもの食べて、ああいいな、また次の人生があるのかなって、ほとんど考えて、皆天国に行けるとか、そんな事ばかりで言っているでしょう？ちょっと垣間見せたけれども、この人間の心の作用、これから見れば、本当、現実の無茶苦茶さ、一般の人は当然勉強していないから、当然だけれども、勉強されてずーっと名だたる所がこうなもの。ゼロから無限だってその間はゼロ。数学的に解析したら、でも掛け算、足し算、一杯あるでしょう。小学校から、微積分から関数からそれからまだまだ虚数からとかね。それから数学で表せない幾何学とかね。

それもその幾何学も色んな幾何学があって、今私が言ったタイル数学とか、一杯あるわけですよ。はいゼロ、無限分かりましたね。これ回答になりますか？それをやるわけですよ。それで一般の人がああ分かったと。それでお釈迦様も分かるわけですね、仏は何であるとか、これだけ私達は無明なのです。

## **痴呆症は機械化の世界によって六処を遮断してしまう**

だから年を取ってくればだんだん、実に分からないと言う事が分かり始めるのだけでも、それも頭のしっかりした人がそれが分かるけれども、ほとんど今度は痴呆症が発生してしまうわけです。遮断してしまうからそこに行けないのです。人生の体験全部ほり投げてしまいます。

私も一杯機械を長いこと使ってやっているけれども、過去にやったからおぼろげながら体を動かして、また戻るけれども、やっぱりだんだん昔のスピードとかね、鋭さが無くなってきますけれど。体験だけがやっぱり財産で、そして何とかかんとか組み合わせ、やっている時は何とも思わなかったけれども、こうしてまあ出来て、お堂を見たら、いやあ、本当にこれ自分がやったのなかなかあと。

でもやっている最中は、あれ失敗した、これ失敗したと、細かいところまで見えます。「まあまあこれで良いんじゃない」と思うわけ。という風な事でそれも68から始めてよくまあやった事で、土砂を盛り上げたり、石を盛り上げたり。

### **【参加者】**

今からやると言っても。

### **【水源師】**

いや時間かければやるけれども、またしんどいなあと。チベットのミラレバさんは、先生からこんなを作って壊せと六回、六回やらされた。だからそうなったから、それでもちゃんと逃げないで教えを受け入れて、遂にはチベットの最高の行者になって、空は飛ぶ。もう最高の瞑想をされた方みたい。

### **【参加者】**

痴呆症と言うのは逃げてしまうのか？

### **【水源師】**

ああ、閉じこもるわけです。だから六処を遮断してしまうわけです。コンピューターがポンポンポンと切ってしまうから、自分の六処が心の中にあるから、それが過去にその世界で生きているから。だから外から見れば、通信網が遮断されてしまっているから、外から見ればおかしい行動をしているけれども、本人はそうではないわけ。

という事であるだけの事で。だからそれは元通りにするには、ちゃんとした心の先生が、ちゃんとした法を求めてしっかり法随観で親切に指導して行けば痴呆症にはならない。だからミャンマーで痴呆症というのは聞いた事もない。あるのかもしれないけど。

## 【参加者】

痴呆症は現代病ですね？

## 【水源師】

タイランドでも聞いた事ないし、それからカンボジアとかそう言うところでも聞いた事がない。ビルカバンバとかでも聞いた事がない。痴呆症と言うのは結局機械化して、機械化の世界と人間本来の崇高な宇宙の秘密を持っている人間の体と完全に逆体してしまうから、機械化の方に機械化の心で動けばやっぱり痴呆症になります。と言うのはこの空間しかないのだから、これが大世界だから。でも過去の色々な体験とかあるから、今度は心の世界で今度作り上げて行くからね。

## 心が自分で作り始めるコンピューターゲーム、止まらない苦しみ

だから日本では今全国コンピューターゲームがあるでしょう？あの中でコンピューターが無くて心で自分で作り始めるから、夜も昼もその世界に入ってしまうから、凄く苦しい。もう地獄のような苦しみみたいですよ。もう24時間止まらないって。

ありとあらゆる情景が心の中に次から次へと出てきて、最初は面白いのかもしれませんが、もう止める事が出来ないわけです。生と死を止める事が出来ないように。恐ろしい世界に入っていくのです。誰も止める事が出来ない。死んでも止める事が出来ない。

だから自殺しようとしても出来ないのだから、何回試してみても死ぬ事も出来ないと。それで死ぬつもりで、自転車ですーっと北海道周って寒い所に行って死ぬのではないかなあと言っても、まだ生きているのだから。

生きるという力が強いから。こういう情報も、津々浦々日本全国で今発生し始めているけれども、誰も言わないですね。私は現実にそういう人たちの悩みを聞いて、こう接触したから現状が分かるくらいで。かといって私はカナダだし。それは国のやる事であって、私のやる事ではないのですよ。

そういう心理学者が五万と日本にはいるし。心理病と言うお医者さんも一杯いるのだから、その人の責任でしょ。私は関係ない事なのですよ。私はただ心の修行という事で、ただこうお釈迦様の教えをやって、そういう眼から見ればもう明快に無茶苦茶という事が分かって。という事で今ちょっと六処という日本語と中国語とパリー語のあれで訳しが間違っているから訂正します。でなければおかしいことになる。

## **「仏説・妙法蓮華経」「仏説・般若心経」意味深いお釈迦様の言葉**

それで般若心経の眼、耳、鼻、舌、身、意というここが入っている。般若心経のこのサンカーラ、行、行深がここも入ってくるし。だから般若心経の素晴らしさと、それからこのお釈迦様が、お釈迦様の言葉を簡潔に分かった事を言ったこの言葉ね、どういう風になっているかと。

だからお釈迦様の言葉というのは、それだけ言葉一つでも深い、深い意味がありますね。でも日本の人は皆、「ああ。お釈迦様ね」と。仏陀、皆分かるわけですね。この恐ろしさ、言葉一つだって分からないのに、分かってしまう。無智の恐ろしさ、あれはこうだ、あれはああだでもう決定してしまう。

あの人は間違っている、ああこの人は正しい聖者だとか、という事がこの一週間の修行でちょっとは体感されたらとても嬉しいですね。だからこの日本にはこういう妙法蓮華経というお経とかね、これも中国で書かれて。日本に来た般若心経も中国で完成されて日本に来て、それでこうして私たちが読めるという凄い、凄い高層たちがお釈迦様の言葉をかみ砕いて私たちに与えて下さっているけれども、その内容たるやまた凄いわけです。

私がちょっと、ここがこうですと説明したでしょう？そういう事を体験されているのだと思いますよ。凄い事で、しっかり分かって書かれている。だから私たちは、大海の一滴のしずくを受けてもこれだけの恩恵があるわけですね、ただ唱えて。本当に、如日虚空住という、虚空、虚空蔵菩薩、虚空、これがまた凄い大世界のドメインに発生するという事です。

## **鳩摩羅什の法華経**

### **【参加者】**

これは誰が書かれたのですか？このお経。

### **【水源師】**

これは書いてあるはず、鳩摩羅什の法華経、お釈迦様が言った大乘で多分カブール、その昔ガンダーラと言う大乘仏教の本地ね、ガンダーラ、あっちの方からずーっときて、日本に来ているはずですよ。鳩摩羅什というのは、亀茲国(現在のウイグル自治区クチャ県)の王子様が捕まって、それで長安で経典を訳させたみたい、中国に長いこといて。それでもの凄い最高の学者たちが一生懸命それを訳して訳してという、まあそれがあるから、今ここにあるから、大乘仏教の方はね、上座仏教の方はまたまたパリ一語で、最初読んだように簡単に説明しているのだけれども、言葉も深いわけですね。

それによって phasso 触生起と phasso、vedanā, tanhā, upādānā, bhavo という、これはアビダンマの中で、ちょっと最初、接触するでしょ、接触という意味だけれど。鳥が飛ぶでしょ、ぱっと入ってくると、それを見ると、それが受の触の事になるのだけれど、そういう風な、触るとか色んな感覚で、それから始まって来ますという事です。

それによって今度は受生起、こう生が生まれてくる、命が生まれてくると接触することによって。

### 【参加者】

パリー語で何と言うのでしょうか？

### 【水源師】

phassa から vedanā、感覚がある、vedanā が本当感覚なのだけれども、salāyatanaphasso が触生起、それで phassapaccayā vedanā、vedanā は触になるでしょう？だからちょっとこれがどうかな、tanhā は vedanāpaccayā、tanhā は愛になるのだけれども、結局触によって生が生まれると訳されているけれども、vedanā は感覚の事でヴェダナヌパッサナーって、感覚で観てる、その事なの、vedanā。だからこの中国訳もそのまま、まともにやればちょっと分からなくなるから、それをきっちりこうこうだと言うのは、非常に難しい。

何故かと言えば今こういう言葉でいっぱい説明したでしょう？そこには広大なサブジェクト subject があるから、そう簡単に一概にパンと決められないけれども、今言っている事は、大体の一番の氷山の一角を指してこう言っているわけです。だからそれだけで全て分かったではなく、その深い氷山の中を全て観て、そのポイントがこうだという事を認識しなくてはいけないから、その認識させる為に、このお経を読ませるわけです。深く勉強して下さいという事なわけです。

それで、愛が結局、お父さん、お母さんとか、鳥さんも子供を育てて、その前にいい相手が見つかってそれで夫婦になって卵を産んで、今ここでお父さん、お母さん替わりばんこに温めているわけという風に、その vedanā の接触そういう言葉ね、触と言うのだけれど、これは日本語で言えば、その因縁の触りによって、新しい生命体が生まれてくると。生が生まれてくると言う事で、それに受生起と言う事によって今度愛が生まれてくると。

## 「執着の愛」ではなく、お釈迦様の「大きな愛」になって下さい

愛、あなたが好きとか、私が好きとか簡単に言えばそうだけれども、やきもちもあれば色んな妬みもあるし、色んな事があるのだけれども、tanhā ね、それを愛とただ訳しているから、非常に難しい。

ところが、私たちはお釈迦様が言っているのは、大きな愛、大きな愛とは、空にも愛があり、大河にも愛があり、人類全てを愛するよという様な、愛であって、小さい場合は夫婦愛、それが大体問題を起すよという事を言っているわけです。

だからお釈迦様は奥様をゴパといつも呼び合っていたわけです。その夫婦の間でも、小さい時から知り合っている時からの呼び名でね。ところがお釈迦様が正道した時は、ヤショダラという本当の名前であなたはなぜ私の名前をゴパと言わないのですか。なぜそういう風に他人行儀みたいにヤショダラと言うのですかと。

「私はね、もはや一対一の愛よりも、この僧院のこの全ての僧侶とか比丘、比丘尼たちを愛さなければいけない大きな愛で生きているから、動物も全てを愛しているから、あなたもその一人でゴパとはもう言う事が出来ない」と。

ヤショダラという言葉で呼ぶしかないという事を言ったわけです。そうでなければ誤解して、未だに夫婦の愛と思ったら困ると。もはや、あなたもこういう風な大きな愛で生きてくれという事なわけなのですね。そうでなければそこにジェラシーとか、やきもちが入ってくるから、そういう事でそう言っているわけですね。

愛が発生すから、これは私の物だとか、そういう事によって絶対離さないとか、夫婦あるでしょ、執着とか不倫したとか、こういう風な事の繰り返し一杯世の中で尽きることなく発生するわけですね。ところがその執着によって今度また、何処かに生まれます。

### 【参加者】

執着はパリー語で何と言いますか？

### 【水源師】

tanhā が愛になって upādānm が upādānm bhavo、生、これの訳がちよっと変わっているのですよ、中国語の訳でも。tanhā が愛になることもあるし、執着という言葉にも訳されてしまうから。それで upādānm が結局執着になって、upādānm によって bhavo、また生が発生すると。そこでこの間は、無明からこの bhavo まで、この世に出て生まれる事なわけです。受精して生まれてくるこの課程の事です。

### **愁、悲、苦、憂、悩の発生により苦が堆積してゆく・これをしっかり観る**

そしてこの世に生まれて、ここで初めてこの世に出てきて、この一生を今度生まれて死ぬ間の事を bhavo、この世に生まれたと。生まれてから、bhavapaccayā jāti というのは、苦、老、死の憂い jātipaccayā が発生するから今度は、年を取って死んで行くという事を言っているのです。

それで生、老、死が発生することによって、憂いや悲しみや、苦や、愁と言うのは愁という中国語ね、もっと憂鬱になるとか、悩みが発生してこれが全部堆積して行って、これが苦と言う事になると。

パーリ語では、evametassa kevalassa dukkhakkhandhassa samudayo hoti と言う事になりますね。Soka 愁、parideva dukkha 苦、domanassupāyāsā sambhavanti という風に、このように愁、悲、苦、憂、悩が発生する。

これによって苦が堆積するのですよという事をパーリ語で言っているわけ。これをしっかり観る事によって、この禅の瞑想の修行者は清浄梵行者、他の全てのそう言う疑惑が無くなって、因縁と言う事がしっかり分かるという事なわけです。

### **観自在菩薩行深のサンカーラを般若波羅蜜多によって観る・これは法随観の行**

結局何回も言った様に無明が発生し、それによってサンカーラが発生してしまうと。そう言う無明を全然分からないから、そういう連鎖作用で、サンカーラというのは心の作用、ところが生きていた時は私が一つ一つ行動するでしょ、それもサンカーラになるわけ。コンピューターのプログラミングみたいにタタタタとそれをサンカーラと言う。

観自在菩薩行深の行がサンカーラで深く観たと。それはパニャー般若の智慧によってだけれど、深く禅行をやって、観自在菩薩行深のサンカーラを深く般若波羅蜜多によって観たと。それでその五蘊、吾家有一客のその正体を観たという事。

これが吾家有一客の作用をサンカーラの作用の事なわけです。五蘊照見空とその究極の姿を観たと。それはね、今はこう解説しているけれど、それは実際に体感して観なければもう雲を掴む話になってしまうので、あんまり真剣にそれをやっても、まあお話だけになるから、今みたいなお経を読んで、やっぱり瞑想をして。法随観やらない限りは、ここは観えない。

#### **【参加者】**

ただ皆でこう読まないより読んだ方が良いのかなあ？と。

## 【水源師】

勿論良いし、南伝では必ずこれをして、朝から晩までこれを読ませているけれども、これを実際に深くやるには、やっぱりニミッタを出して、ずーっとダンマヌパッサナーを終極的にやらなければいけないけれども、まあ千人いれば1人くらい通過するくらいのものであるから、なかなか難しいのですよ。

### 浄土三部経の仏説阿弥陀経・一億いれば一人二人しか行けない

ただそういう事があるという事で一番良い事は、ただただ私が今お教えしている禅法で、心を磨いて行くしかないと思う。それが心を磨いて、ずーっと行ってももしあなたが死ぬ時に私が立ち会えば、涅槃に達する方法の道を開く事が出来る可能性がありますね。法髓観の力によってです。

というのは、お釈迦様から頂いたこの法を、どういう風に使うかという事が大体体験上観えてきたからです。ただし、そういう風に修行していないとか、ダーナを深くしていないという人は非常に難しい。私は非常に悩んで、だからそういう人たちのために、阿弥陀の世界にまず行ってくださいと言うわけです。

ところがお釈迦様の時代は、非常に dukkha の世界で皆苦しんでいたから、苦よりも平安の事を求める人がやっぱりいるわけですよ。もう心が痛くて、死にそうなくらい痛くても死ぬことが出来ないし。だから王が国まで与えて、その平安の中で生きたいとお釈迦様はそれを辞めたら国民が困るから、あなたの仕事をしてくださいと。それで国王の位をさし上げますからと、云いたのですが、お釈迦様はそれも拒絶したわけです。

お釈迦様は。そういう凄壮絶な話の上だから、そういう人は徹底的に心が苦しいから、お釈迦様がちゃんと導いて行けるわけです。ところが今は棚ボタで、はい薬1つで全部悟りを得たいという状況では、やっぱりそれだったらせめて阿弥陀の国に行けるチャンスがあるかもしれないという事で私が、この阿弥陀の国に何しても行けるというのは間違っています、浄土三部経の仏説阿弥陀経というのだったかな、その中では、一億いれば一人二人しか行けないと明快に書いてあります。何をしても良いとは書いてないです、その世界に行くにしても。でも、それで、はたと困って、皆さんに瞑想でこう教えて観音様が現れてきたのです。

### あなた一人一人が確認してください

じゃあ後は皆騙しになってしまう、行けると言って行けなくなってしまうから。そうしたら一般の確信も無いのに、誰かから言ったと言う、やっぱりお釈迦様はね、私の言葉を信じてはだめです、あなた一人一人確認して下さい。今は殆どのお坊さん方は、先輩が言ったからとか、和尚さんが言ったからとか、それは全部責任をそこに上げて、自

分はただそれを信じていると。そしたらね、そうなればそれを確かめる事もなくただ信じた場合には、その先生もまた同じ様に信じて、その先生もまた同じ、いつどこでどう狂った分らないわけです。

というのは、お釈迦様が言ったのは、マガタ語でお話して、パリー語。そしてそれが今度その後、正式には今度サンスクリット語に書き換えられて、サンスクリット語から今度は中国とか色々な国を通して、朝鮮半島から日本に来たか、直接中国から日本に来たかと言う風になっているから、それも二千六百年の間だから、百年、二百年経ったら日本語自体も変わってしまうのに。だからそういう風に確かめる事なく続けた場合には大いに問題が発生してしまうと思います。

特に有名な曹洞宗の正法眼蔵というのは、開祖の道元禅師の言葉が江戸時代までちりじりばらばらに、なっていたわけです。

## **正法眼蔵、言葉の由来**

---

### **【参加者】**

正法眼蔵が？

### **【水源師】**

そうそう日本のあれは。それを集めて正法眼蔵で、今こういう風に発表しているけれど、それまではあっちこちに散らばっていたわけです。それが今の現状なわけだから。道元様が言った事が、あっちこちに分かれていたわけ。

それが正法眼蔵と言う名前を付けて発表したのは、江戸時代に散らばったのを、再編集して出来たのが今のわけ。正法眼蔵と言うその言葉は、揚子江にいつもそこで遭難する所があるわけ。

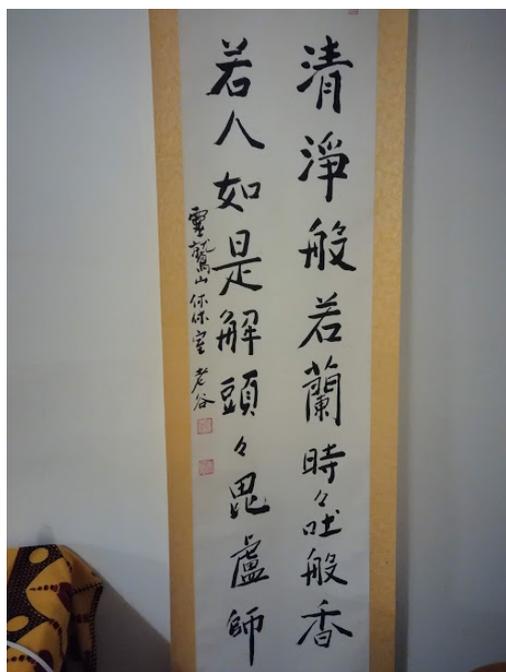
そこを、山を切り碎いて巨大な仏を掘って作ったわけです。私もそこに行ったけれど。親指の爪の上に大人が五人か十人立ってます。足の親指の爪の上に。だから下から上を見たら人間が蟻みたいに小さい。それでそのお寺のそこを作った和尚さんを記念して建てたお寺の、お寺には必ず立派な句が書かれているわけ。そこに正法眼蔵と書いてある。

正法眼蔵は日本の道元禅師が書いたものではないわけです。その前からちゃんとあります。それでその和尚さんは、ここで人の命を沢山落とすから、何とかこの人の命を助けたいと。それでその代官にどうぞお布施して下さいと。まあ追っ払う為に、そんな生半可でこんな所に来てお布施貰うとは凶々しいという事で、「お前のその眼二つをくり抜いたらお布施して建ててやる」と。そうしたらパーンとすぐその前で目をくり抜いたわけです。それでびっくりしてしまって、これは大変な事になると。この和尚さんの言葉

通りしなかった場合には、完全に地獄に落ちるという事がもうすぐに目の前で分かったから、巨大なその仏像を作ってたのです。

そこに書かれているお寺の大事な題目が正法眼蔵。で、今、揚子江が、ダムを作って埋まったでしょう？その山みたいな巨大なその仏像がまだあるのか、水の中からちようど肩から出ているのか、まだ分からないけれども、相当水が上がったと聞いている。すっぽり全部は落ちていないとは聞いたけれど。という風な壮絶な話があるわけです。

だからこういう南伝のこの解説もここに吾家有一客正是海中人という事は、これは私が頂いた句なわけです。この韓国の靈鷲山と言う事は、ラジギールと言う名前なのです。私はお釈迦様から正法を頂いたこのお寺に住む、休休室老谷と言う僧侶のたて、方丈様になられた方です。



水源師が韓国靈鷲山から頂いた句

#### 四十年前、未来の水源師を観て書いてくれた句

それでもう一つも清淨般若蘭、私が言葉を話した時に口から法を話すという、こういう句を二つ私の為に書いてくれた句なわけです。あなたは、毘盧遮那仏をよく分かりますという事を私がまだ若き、いまから四十年以上前に頂いた句なわけです。だからそういう和尚さんは未来を観ているので、是解頭毘盧遮那仏という風に。毘盧遮那仏の消印は観音様の事。なぜかと言えば、この妙法蓮華經觀世音菩薩普門品偈に、如日虚空住ここ、如日虚空住この事。

なぜここに繋がっているかと言えば、この句がね、毘盧遮那の別名は大日如来、陽の如来、毘盧遮那是解頭。それで私が海印海潮禅をやった時に、こうまず観なさいと、そうしたら空中に太陽が出てくるから、この事なのです。

それでこの方は通度寺、通度寺という韓国で最高のお寺という、文殊菩薩様からの舍利百珠、ここに 있습니다。

### 【参加者】

文殊菩薩様の舍利が通度寺に百もあるのですか。

### 【水源師】

そうです。勿論お釈迦様の舍利もあります。ここのお坊さんが、文殊菩薩に会いに行つたわけです。五台山に行って。そうしたら文殊菩薩様が出て来て、自分の指をポンと折って、はいこれを持って行きなさいと、舍利を与えたのです。

### 【参加者】

そう言うビジョンが出てきたということですか？

### 【水源師】

いやいや本当に。そして持って行って、「私がお前の所に尋ねて行くから」と言われて、ずーっと待っていたわけ。だから仏教というのは凄壮絶な話がいっぱいある。ただ普通のお話ではないのです。

## お釈迦さまはダーナされた毒キノコを食べて亡くなられた

人間界で何だかんだと解説するような、病気になったとか、お釈迦様が癌じゃなかったとか、実はそうではなく、結局毒キノコを食べて死んで行ったのです。豚肉と言う説があったけれど、インドの方ではその当時肉を食べれば汚いものを食べた汚らわしいと見られるのです。ましてや結婚式の時にお釈迦様に汚らしい肉を出すわけないわけないでしょう。

結婚式の嫁さんが森に入ってとても新鮮なキノコを採って一生懸命作った料理。それがちょっと腐ってしまったのか？毒キノコが入ったのか？それでそれを食べて、一旦は断つただけけれども、どうしてもその旦那さんのチャンドラさんが食べて下さいと言うから、仕方なしに拒絶するわけにいかないから、食べてあげたのです。

そうしたら一口食べて、後はこれは全て他の人には食べさせないで、森の土に埋めて下さいと、分かっていたのです。

**【参加者】**

それは弟子に言ったのですか？

**【水源師】**

そのチャンドラ、お布施したその旦那さんに。それで埋めて、その後、我慢して森で腹痛を起こして、これから私はいよいよ死ぬという事だけれども、チャンドラにこの世で最も美味しかった食事は二回あると。一つは正覚してね、木の下で、その後に最初に食べた食事と、今、最後にチャンドラからもらったこの食事二つだと。こういう事を必ず言ってくれと。そう言わなければチャンドラが、私を毒殺したという事になるから、絶対そういう事を言わないようにと。という風にきつくアナンダ様に命令して死んで行ったのです。

**【参加者】**

そこまで考えている、、、。

**【水源師】**

考えなければもう大変な事になる。皆知っているから、断ったのに無理に食べさせたという事を皆見て、ずーっと。ただどこかに歩いていて、豚の腐った肉をお布施だから食べた言うわけではないわけです。

**【参加者】**

本に書いてありますよね。

**【水源師】**

本に書いてある、だから結局インドのサンスクリット語の経典を信じるのか、ずーっと何千年も後の日本語の訳を信じるのか、やっぱり本家本元のインドのバラモンの経典とかそういう経典で残った本の方が、やはり日本の弥生文化とか、蝦夷文化とか分かる、わけないでしょう？余所の国の人。それがさも皆分かった様に、今日本では大いに流行っているけれども、大問題だと思いますよ。

**【参加者】**

豚肉って皆、言っていました。

**【水源師】**

そう、私もそう信じていた。ところが違うわけです。だからこの大乘でね、カブールから来て、カブールから中国に行く間には、今のトルキスタンという回教徒の国を通して入って来ているわけです。

だから何があるかは分からない。訳、訳、訳で来て。だからそういう事も顧みずに、アフガニスタンのカブールという名前も今まで聞いた事もないけれども、そこにはもうお釈迦様の生まれた時の最初の寺院があるし、凄い帝国があったわけです。それ自体も言っていないのだし。ただ北から来た、北から来た。

**ホータンの王女様の化身が「百済観音」**

それで観音様の生まれた国は、ホータン、カブールの近くに名前がホータンという国があるわけです。私がそこから来ましたと。もう一、本当にちょっと改めなければ何を勉強しているのだから、現地に行かないで本、本で、命が惜しいから行かないのか、その戦争が起こる前に行かないのか、これはどう言う事なのかさっぱり分からない、本当に。

**【参加者】**

誰も教えてくれない？

**【水源師】**

そうそうそう、私が現地に行って確かめて、ホータンの国が実はチベットの小さい国の中？そうではない、クシャン帝国の凄いエンパイヤのお姫様だったのですよ。そして北インド全部、マガタ国から北インド全部とペルシャからウズベキスタン、カザフスタン一と凄い帝国の王女様だった。その化身として死んで行って来たのが、補陀落観音といって上海の沖の島にちゃんと祭られているわけです。

**【参加者】**

これかな？

**【水源師】**

そうそう、その写真出てこないのですよ。うちの家に飾っていたのだけれど。

**【参加者】**

それはホータンのある？

**【水源師】**

これは上海のある。それで同じ

**【参加者】**

拡大したのだけれど、コピーが良くなかったのか、、、？

**【水源師】**

それ位巨大で、こういう風な姿で出てきたのだよ。

**【参加者】**

はい、あの時に。

**【水源師】**

前も佛光山でやった時。どちらも巨大な姿で出てきたのだよ。同じ姿で出てきた。

**【参加者】**

やっぱりプリンセスだったわけ？

**【水源師】**

そうそう。だからプリンセスがこうなっているでしょう？今はこうなっているけれども、だからこういう風な皆被って。それでお釈迦様の時代も皆ね、比丘尼はこう頭被せてた。頭を剃って出していたわけ女性は。



上海沖の補陀落島にある観音像

**【参加者】**

あれを見て初め、分からなかった。

**【水源師】**

そうそう。だからもう、私は、日本は最も正確に描いているのだろうなあと思ったけれど、いや一疑問が一杯出てくる。

**【参加者】**

アフガニスタンから同じ顔というか写真？

**【水源師】**

アフガニスタン？いや、アフガニスタンの本当に観た私の観音様は、西洋系の綺麗な顔していた。だからピッタリ合うのですよ。実際の補陀落観音様は東洋風ではなく、もっと西洋風な顔をしていますよ。

**【参加者】**

堀が深い。

**【水源師】**

堀が深いです。だからデタラメに作っているわけではない。ただ想像で作っているわけではない。誰かが観て作ったはず。だからこの観音様が現れてきて、忍野八海でここがスーっと開いて、阿弥陀様がすーっと降りてきて蓮の上に座ったわけです。

**行をして、旅をして初めてわかる・阿弥陀様の色は朱色**

その阿弥陀様の色あるでしょう？何と延命寺？の奥の奥に阿弥陀様を飾っているわけ。同じ色。私は、阿弥陀様は赤色ですよと言うと、びっくりして見せてくれたわけです。その色同じ色で。だから奥の院の行者も観ているはずなのです。

阿弥陀様の行を、誰かがして観ているわけです。観た方が一人二人ではなく、沢山おられたのだと思います。その内に行者が消えてしまったか、何の因縁かただ伝えられた色だけは覚えて書いてあるのだと。

**【参加者】**

実際どう言う、あの中での色では、どれに該当する赤ってあるのですか？

**【水源師】**

まあこの朱色。



カブール博物館にある阿弥陀様の仏画

**【参加者】**

朱色いっぱいあるけれども、近い色？

**【水源師】**

近い色と言えばこっちの色だね。

**【参加者】**

ああー、綺麗な。

**【水源師】**

そう綺麗な。だからこの色もただ色書いているわけではないです。

**【参加者】**

純化した色なのですね

**【水源師】**

そう、だから阿弥陀様を観ているはず、誰かが。それでカブールに行って初めて分かったけれども、やっぱりカブールのお釈迦様だと思ったのは、こう描かれているでしょう？こう、ね。

ところが阿弥陀様は、そういう風に表されているわけ。ここを観てこの胎蔵経の絵、同じスタイルでしょ。あなたが欲しいと言った、この場所は阿弥陀様。だからこれは全部空想で描いているわけではないわけです。

**【参加者】**

本当にまさしくこの色なのですね。

**【水源師】**

だからカクサンダー、コーナーガマナ、カシャパ、そしてお釈迦様ゴータマブツダ、という風な位置になっているわけです。カクビハラはこういう風に建てておられて、全ての密教の寺院もこういう風に作られています。

だから、お釈迦様は観音様の化身だと言われる由縁もここにあるわけです。だからこういう風に曼荼羅があるから説明出来るけれども、これお話だけでは、難しい。この道場に来ているから説明できるけれど。色々な経典とか絵とかあるから。

**【参加者】**

さっぱり分からない。

**【水源師】**

うん、さっぱり分からない。それで私が青蓮院で拝観させて頂きました、不動明王様も青不動でもっと綺麗な青なわけです。こういう風に私たち行ったでしょ、あの色なのです。それは本物。とこの絵とは全然違う。絵描かれているのは私以外の方が、観ているわけです。

**【参加者】**

これは中国の人が書いているのですか？

**【水源師】**

いやいや日本の方みたいですよ、あれはね巨大な。莫大なエネルギーを使って絵画かれたみたいで。

**【参加者】**

普通は見ない、のですよね。

**掛け軸二つにピタリ、観音経にピタリ**

---

**【水源師】**

はい、確かにそうです。だから今こういう風にね、究極の世界は全て繋がっているわけで、ああいう掛け軸から何から、ぶち切れてはいない。それをぶち切れて教えるから皆が、何が何だか分からなくなってしまうのです。

だからこれもまた説明しなければいけない、アビダンマとかあれで色々、それで明快に日本語にはないわけです。その当時、日本で二十四因縁という事を一生懸命言っているけれども、この事なのです。二十四因縁と言う因縁ね、所縁縁、増上縁、無間縁、相續縁このことを二十四、どう言う因縁という事があるか分類したのが二十四因縁。

**【参加者】**

法話の中でざっくりお話して下さっていますよね。

**【水源師】**

そうこれもね、確か。こういう事をさも有り難い最高の教え、これはもう一般の人が誰でも言っていること。という風に日本には、弘法大師様が言った様に、三百巻のうち三巻しか法が伝わってないと、だから1パーセントしか伝わってないわけです。それを色々学術的に解析したりそうしているけれども、この人達は現地に行かないで分るのですね。

それも二千六百年前の事を経典が無い事を、経典で解析するという、想像絶する事をやって、それを日本の人がそうだそうだとやっているわけです。そうだそうだ。暑、暑い、そうだそうだ、原因はどこ、いや暑い、暑い、そうだそうだ。実際は40度ではなく60度だけれども、誤魔化して40度とか35度、実はプラス25度だから60度になるわけです。

だから40度だったらそれにプラス25度だったらどうなる、65プラス体感70度、70度暑いですよ、お湯でも。まあよくやりますね。仏教もこれに近い実法取っていたらもう先行きは本当に無明。これこそ最初の無明、これが明快に無明という事が、分かりましたか？

言葉ではなく実際、無明なのです、こういう風に。こういう温度の事でも無明、これくらい正確な温度皆見ている、これだけ無明な事をやっています。

**【参加者】**

これは台湾のミャンマーの分院の所から頂いたのですね？

**【水源師】**

そう、本当は出さないのだけれども、この原本は、皆ミャンマーのパオ僧院で言っているのだけれども、朝から晩まで、これを中国語で簡単に訳したのは、千年前にこう言う経典があったようです。それを書き写してやっているけれども、これが現代において訳して書いたわけではないです。昔から千百年前にあった経典を載せたという事。

**【参加者】**

こっちはだから本物なのでしょうか？

**【水源師】**

こっちが本物で、これが中国訳です。

**【参加者】**

その本物だけを唱えようかなと思って。

**【水源師】**

それが良いと思うけれども。中国語も素晴らしいけれども、それは一杯詰まっているのを短縮してしまっているから、難しい。パリー語でも難しい。それは一杯、今言った様にストーリーがあります。だからサンカーラだけでもこれくらいの話になるから。それが体験していれば、早いけれども。体験しないでここだけでやると言ったらもう、言うのを辞めた方が良い。誤解して変な事になってしまうと思う。

だからその掛け軸二つ、ピタリとこのお話に合ってくる、観音経にピタリと。こういう事も、これだけ見たら分からないよ。やっぱり皆さんに体験して教えた事が、この観音経でピタリと乗って、その掛け軸ともまたピタッと合ってくるでしょ。まあそういう事で。

# 水源禪師法話集 99

(2018年7月21日 カナダ合宿二日目)

2019年2月27日発行

編集兼発行 一乗禅の会